



一口感想

今村ひとみ

入道ヶ岳は三重県の一の宮「椿大神社」のご神体であると記事を見てから、三重の山を度々訪れることがあるので一度はご挨拶にと思っており、今回参加できて嬉しく思いました。

山頂の広々とした斜面の白い大鳥居が印象的で、青空だったらそれは美しい景観であろうと思いましたが、今日の山頂は霧雨でどちらかというと幻想的な感じでした。自称晴れ女の私ですが、今日は私の勢いを覆うほどの雨男がいたとか？おみそれしました。

幾田邦江

CLさんが、20分置きに休憩をとってくださったので、無理なく登れました。山頂は、視界が悪く、素晴らしい景色を眺める事はできませんでしたが、馬酔木のトンネルは、「不思議の国のアリス」の本から、アリスと白うさぎが飛び出してくるような不思議な空間を楽しむ事ができました。又、チャレンジしたいと思います。

伊藤多恵子

2月6日の例会で、雪山の入道ヶ岳に遊びました。山頂へと続く稜線では馬酔木の群生をくぐるように歩き、花をつけるころにも来てみたいなあ…と思ったものです。それを叶えてくれた例会でした。2月に下りに使った急斜面は雪の代わりに緑の草と灌木に覆われていましたが、やっぱり大変な急斜面でした！遠くまで連れて行ってもらえて、感謝、感謝。CL,SL,ドライバーのみなさん、ありがとうございました。

秋山正子

今日は雨の予報の中、決行していただいてありがとうございました。

2月に雪中行軍した入道岳、今回は全く違う山でした。

中腹から馬酔木の花やつつじが咲いていてとてもきれいでしたし、山桜もなんとか持ちこたえて美しい山の景色を見せてくれました。しかし、頂上からの眺望はありませんでしたが見事な花畑がみられてよかったです。お世話いただいたCL、SL、運転していただいた方々、ありがとうございました。

佐々木康治

急勾配の斜面をあがると満開の馬酔木（あせび）の群落

鈴鹿まではたっぷりと時間がかかると思っていたのに幾田号はスイスイ、新名神（信楽～土山）を通り90分弱で山麓の椿大神社（つばきおおかみやしろ）に到着。普段は軽自動車を運転しているのに、今朝は運転手つきの高級車の後部座席、代議士気分を味わう。女10、男5のパーティ、登山口の鳥居から石段を上がっていく。傾斜は急、15人の先頭ははるか上の方をよじ登っている。平坦な尾根

に出るとホッと一息。折角あがったのに一旦ドンと下り再び急勾配の上り。馬酔木の群落が見事、頑張ったご褒美だ。山頂は 360 度の展望の筈だが生憎の曇天、視界はゼロ、「絶景を見るためにもう一度おいで」と頂の大鳥居が笑っている。上りに比べ下りは楽、ピンクのミツバツツジ、白い桜、新緑の若葉が励ましてくれる。廣瀬リーダーのペース配分、休憩の取り方は秀逸、おかげで弱った足でもなんとか完歩。メチャ多くの登山客に出会い、こんなに人気の山とはと驚くほどだった。

気がつけば最高齢を競っている

今日の参加者の中で年は上から 2 番目…本人は気がつかなかったが「会員の男の中では 2 番目の高齢者」との指摘、帰宅してからチェックしてみるとその通り、ノー天気にも過ごしているがいつの間にかいい年になっている。いつまで山を楽しめるのかなと心中複雑な思いが交錯。

川上恭子

リーダーの方が事前に細かく時系列で雨が降る予報を知らせてくれていたので、雨対策もしっかりできて、そんなに酷い雨にも合わず、楽しく参加できました。

皆さん、ありがとうございました。

蒲田史

今日はありがとうございました。小雨と霧で楽しみの鎌ヶ岳、御在所岳は見れませんでした、酷く降らなくてよかったです。馬酔木が見頃で、ヤマツツジも満開で、楽しかったです。

吉澤珠美

予報通りの曇り空、山頂手前で雨。展望はなく馬酔木は匂を過ぎていた。馬酔木の花のトンネルを楽しみにされていた参加者の皆さまには申し訳なく思います。でも花に詳しい H さんのおかげで足元の小さな花に気付いて名前も幾つか覚えることが出来ました。収穫です。また CL が 20 分に一度休憩時間を取って下さり楽に歩けました。



平尾 繁和

椿大神社から北尾根コースの急坂を登り、二本松コースを下った。天気予報では昼頃から雨の予報で覚悟はしていたが、案の定昼前から降り出したが大したこともなく無事山行ができた。山頂は草原状でアセビの群落の間を歩いていった。展望はなかったが、アセビとミツバツツジやスマイレの花を見られた。下山路でスギ林の下の低木の若葉の新緑がやさしくきれいだった。これで鈴鹿セブンマウンテンの一つ入道ヶ岳にやっと登ることができ、残るは雨乞岳となった。CL、SL、そしてみなさんお世話になりました。